

⑦ レーガン桜



明治45年に日本が米国に寄贈したソメイヨシノが、ワシントンのポトマック河畔に植栽され、世界的に有名になりました。その後、昭和56年にその枝を採取し、桜の里帰りの一環として、レーガン大統領夫人から贈られたソメイヨシノが舎人公園に植えられ「レーガン桜」と命名されました。

⑥ 東京都交通局舎人車両基地



日暮里駅から見沼代親水公園駅を結ぶ日暮里舎人ライナーは舎人公園の地下に約85m×約530mの車両基地があります。車両基地内を見ることは出来ませんが、建物を隠しているような佇まいが秘密基地みたいです。



⑤ ソリゲレンデ



無料で芝滑りを楽しむことができる専用施設。人工芝のコースは初心者コース(斜度16度)と上級コース(斜度20度)の2コース。利用できるのは小学生までの子どもとその保護者となっています。

スタート
日暮里・舎人ライナー
舎人公園駅
ゴール



舎人公園は、東京にありながら広がる空と多様な自然が楽しめる、くつろぎの空間です。みどりや水に恵まれた敷地は現在も造成が進み、最終的な計画では、69.5ヘクタールに及び予定です。(平成28年2月1日現在の公園面積は63.1ヘクタール)



アクセス

- 日暮里・舎人ライナー「舎人公園駅」下車
- 東武スカイツリーライン竹ノ塚駅から東武バス「入谷循環」で「中入谷」下車
- 東武スカイツリーライン西新井駅から足立コミュニティバス「舎人団地行」で「舎人公園東」「舎人公園」下車
- 駐車場(有料)

ここが車両基地に続く軌道です。運が良ければ、ライナーの出入りが見えるかも?



コース
約3km
約1時間

すまいる散歩



今回は23区内で3番目に広い都立舎人公園をお散歩です。(1位は水元公園、2位は葛西臨海公園) 4月上旬に開催される「舎人公園千本桜まつり」では多くの火でにぎわうほか、フィットネス広場や人工芝のソリゲレンデなど、大人も子どもも楽しめる公園です。

千本桜まつり時に撮影

① メタセコイア並木



公園に入ると噴水から大池近くの噴水まで水の流れに沿ってメタセコイア並木が続きます。春から夏にかけて青々とした葉、そして秋には紅葉したメタセコイアを見ることができます。

② 大池



5月下旬にはキショウブとスイレンが満開になります。

大池にはガマやアシが自生し、カルガモなどの鳥類をはじめ、さまざまな魚、昆虫たちのすみかになっています。近くには木道が設置されたショウブ田あり、また、東南の小さな池の周辺には樹木が生い茂り、森林浴やバードウォッチングに最適。なお、一部はバードサンクチュアリとして、野鳥たちの保護区域になっています。(立ち入りはできません)

④ 朝目の広場



日暮里舎人線車庫の上に盛り土をして整備したもので標高は17.5メートルあり、足立区内の地表面では最も高いです。360度の眺望が壮観で、綺麗な夜景やダイヤモンド富士(1月17日頃)が見えることでも有名です。

③ フィットネス広場



ここでは「壁のぼり」や「あしつぼマッサージ」などがあります。

シニアの方たちが、器具を使って運動をしている姿がありました。



毎年4月上旬の土日に「舎人公園 千本桜まつり」が開催されます。JA東京スマイルも出店しており、地元野菜や足立地区女性部づくりの桜まんじゅうなどを販売しています。

※ 舎人公園千本桜まつりの日程については、足立区広報誌やHPなどでご確認ください。

